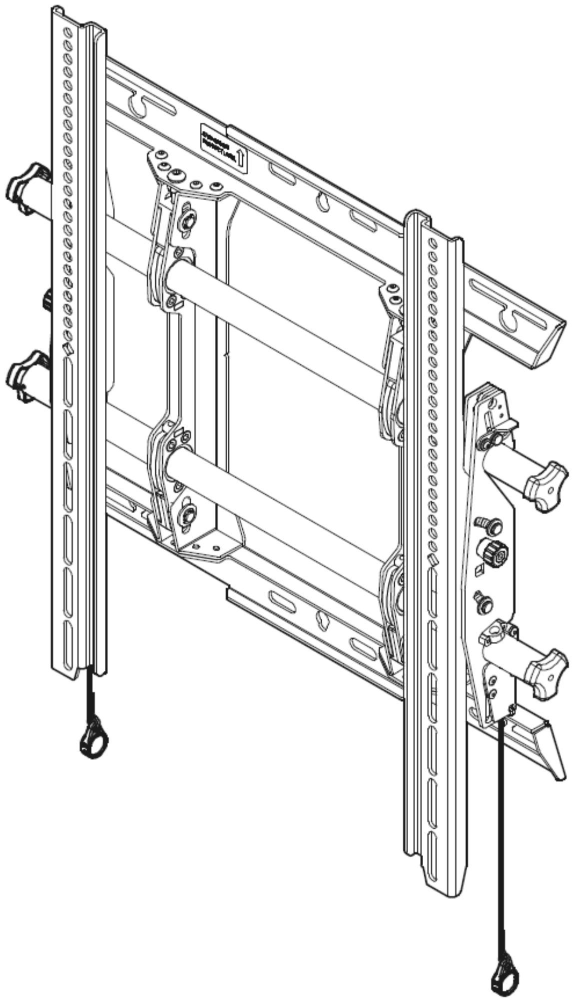
取扱説明書

縦設置用壁掛けディスプレイマウント

型番 MTMP1U



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
●作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
●壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

警告：ディスプレイの取付作業を行うとき以外、ロック機構で確実にディスプレイを固定できているかご確認ください。また ケーブルの取付作業を行うときは、じゅうぶんにご注意ください。

注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する壁面の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 荷重は必ず柱や梁などの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
  幅木や受け木に直接固定しないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの壁面に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1.設置する壁面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。

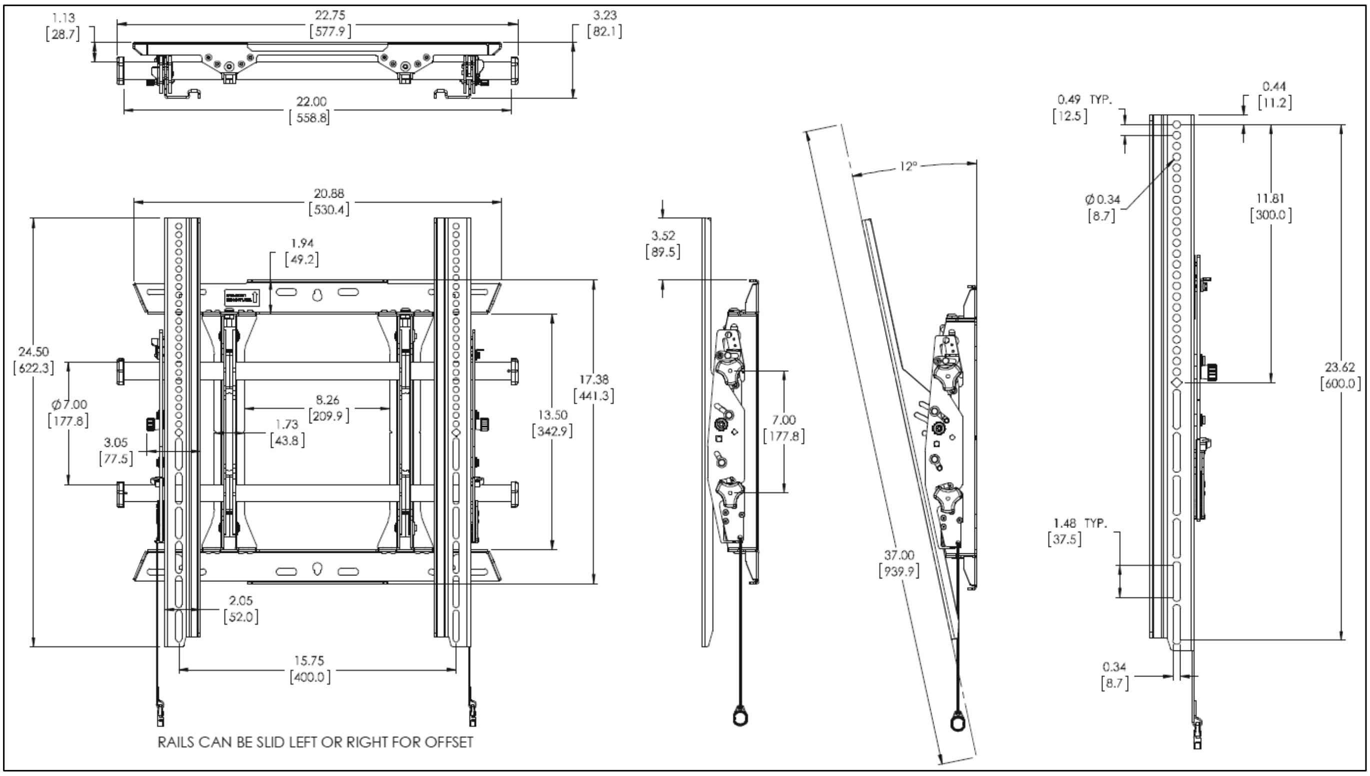
2.本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、ディスプレイと取付金具の適切な設置場所を決めてください。

3.必要に応じて壁面に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。

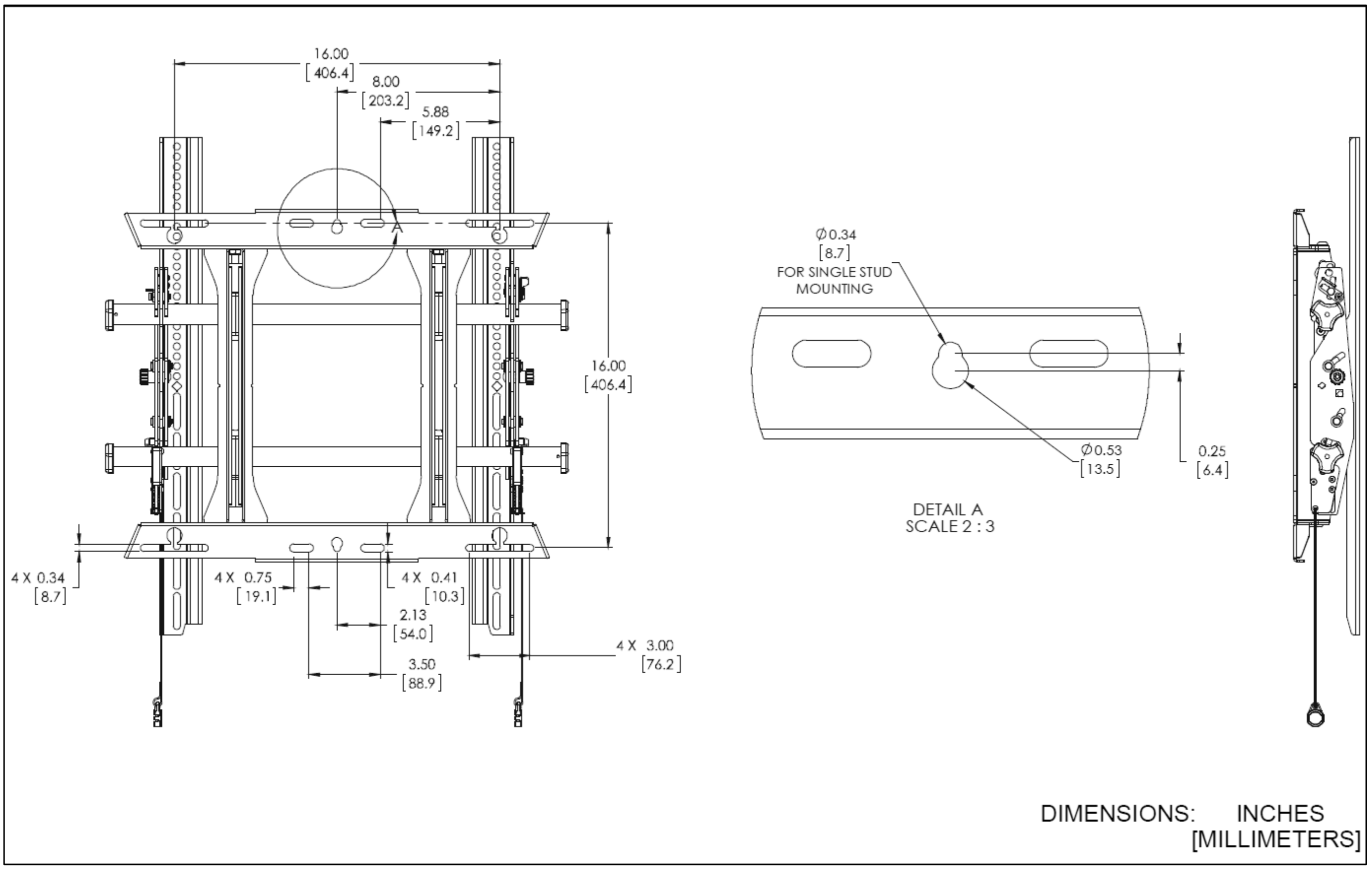
4.設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

5.本製品を壁面構造物にしっかりと取り付けてください。

■各寸法図



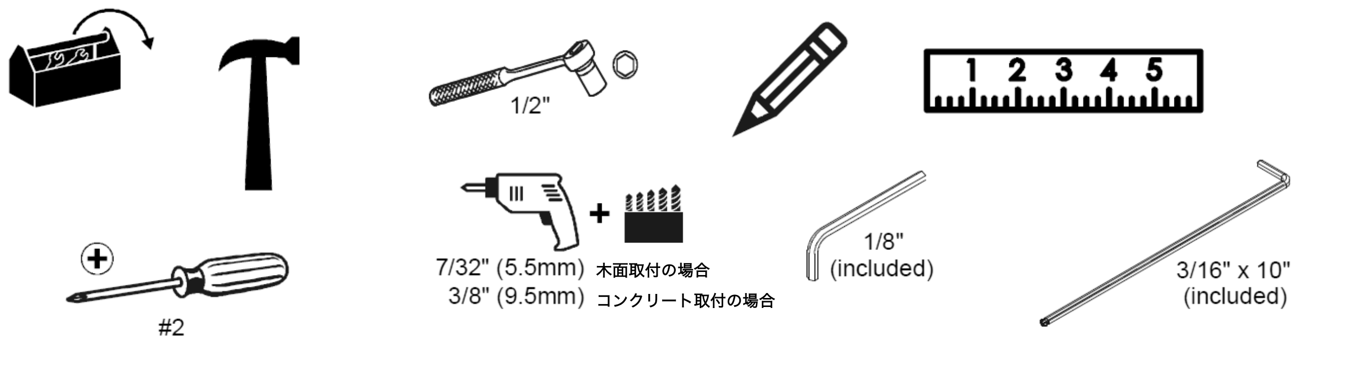
1.13
[28.7]
22.75
[577.9]
3.23
[82.1]
22.00
[558.8]
20.88
[530.4]
1.94
[49.2]
24.50
[622.3]
Ø7.00
[177.8]
8.26
[209.9]
1.73
[43.8]
3.05
[77.5]
17.38
[441.3]
13.50
[342.9]
2.05
[52.0]
15.75
[400.0]
RAILS CAN BE SLID LEFT OR RIGHT FOR OFFSET
3.52
[89.5]
7.00
[177.8]
12°
37.00
[939.9]
0.49 TYP.
[12.5]
0.44
[11.2]
Ø0.34
[8.7]
11.81
[300.0]
23.62
[600.0]
1.48 TYP.
[37.5]
0.34
[8.7]



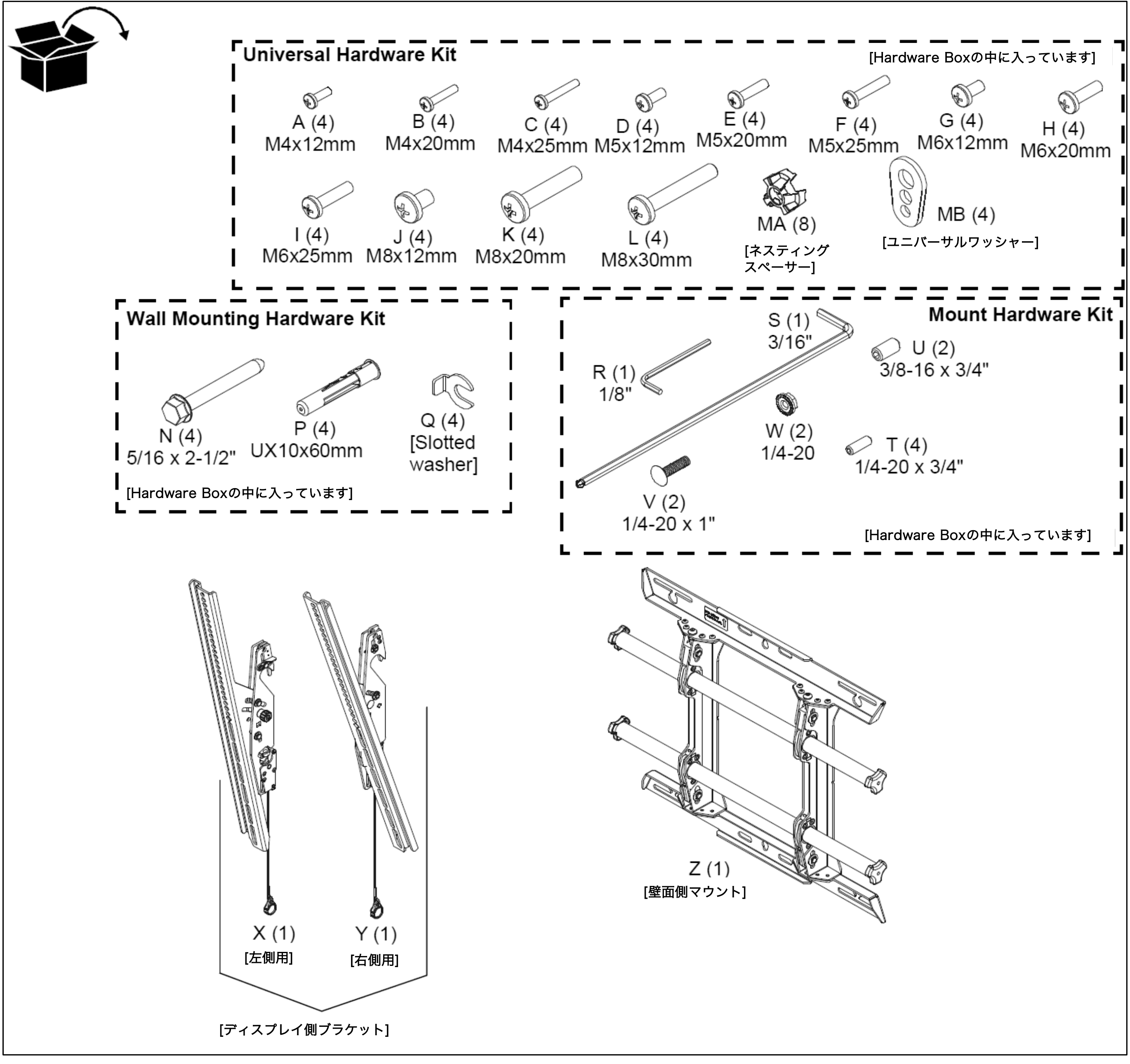
16.00
[406.4]
8.00
[203.2]
5.88
[149.2]
A
16.00
[406.4]
4 X 0.34
[8.7]
4 X 0.75
[19.1]
4 X 0.41
[10.3]
2.13
[54.0]
3.50
[88.9]
4 X 3.00
[76.2]
Ø0.34
[8.7]
FOR SINGLE STUD
MOUNTING
Ø0.53
[13.5]
0.25
[6.4]
DETAIL A
SCALE 2 : 3
DIMENSIONS: INCHES
[MILLIMETERS]

組　立　手　順

■本体の組立に最低限準備いただく工具



■本製品の封入物

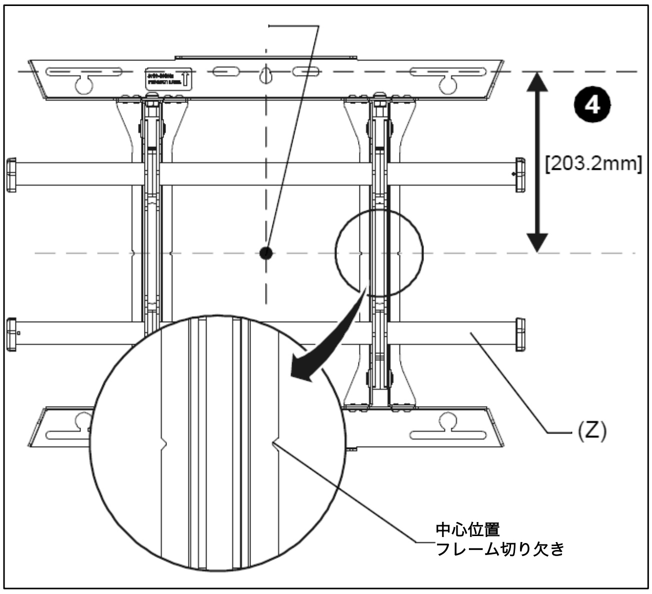


■壁面にマウントを取り付ける

重要！：組立て前に必ず寸法表を確認してください。
取付けるディスプレイのサイズにより取付部品の場所などが変わる可能性があります。

メモ：施工業者の責任において、本製品と取り付ける全ての製品の重量の5倍に耐えられるように壁材の補強をしてください。
最大荷重量は、90.7kg(200lbs)ですが、センター穴を使用して2点固定する場合は56.7kg(150lbs)となります。

標準的なマウント取付け方向は壁側マウントのアジャスターが上側になる方向に取り付けてください（9ページ図-12参照）。マルチ構成で複数台を壁面固定する場合は、下段の列に相当するマウントのアジャスターを下側にする取付方法もご使用いただけます。



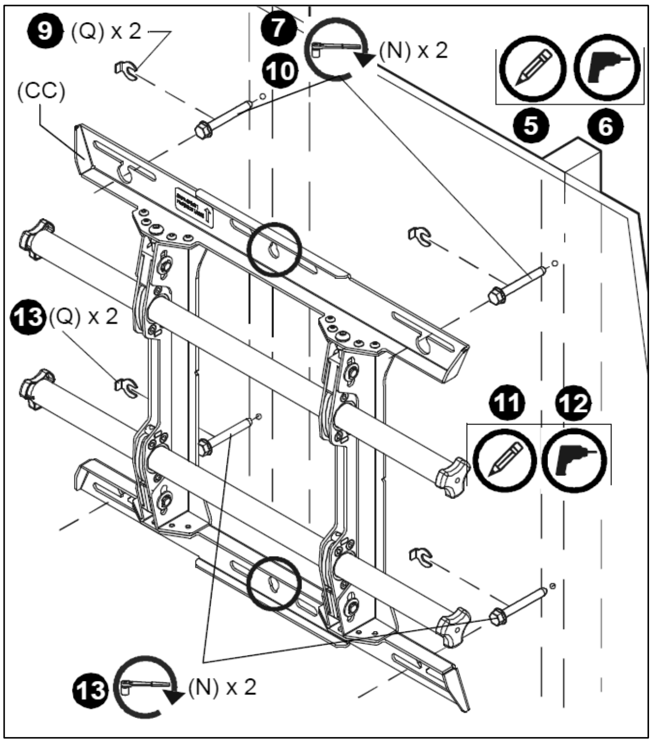
【図-1】

1. モニター画面の中心を決めます。中心点が壁面のどの位置になるか決定します。
※壁面側に補強さんや間柱がある場合、その位置によって高さを決めてください。
2. 一番適した場所の柱で左右設置位置を決めます。

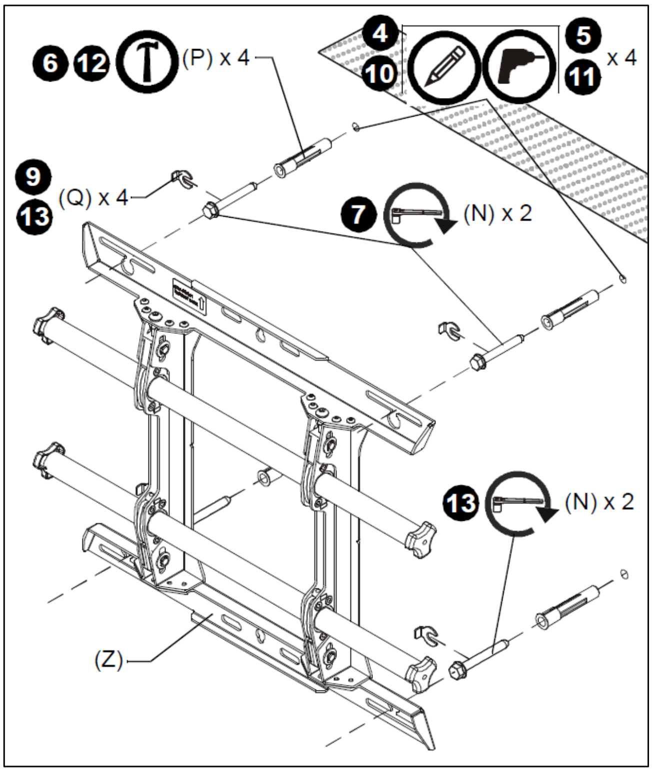
3. 中心点とマウント本体（Z）切り込み位置（図-1）を合わせ、垂直方向の中心を決めます。

4. 壁面に固定するボルト位置から203.2mm(8インチ)下げた位置がディスプレイの中心の目安となります。
中心位置にはフレーム部切り欠きがあります。

※　壁面取付用アンカーやネジは適したタイプが付属されていない場合があります。
それぞれの壁に適切なアンカーやネジを選定の上、壁用マウントを壁面にしっかり固定してください。



【図-2】木枠/石膏ボード壁面取付例



【図-３】コンクリート壁面取付例

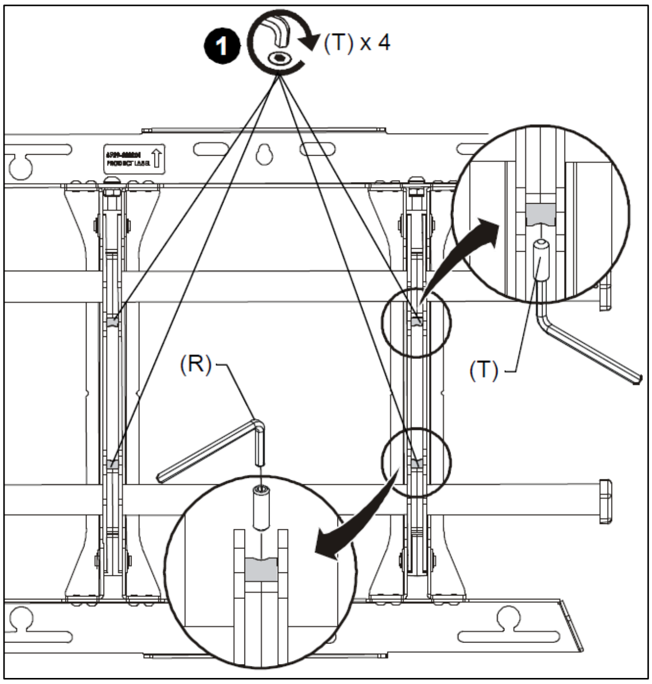
・(図-2, 図-3) 2つの設置例を参考にして、壁面の素材に合わせて壁面用マウントを取付けます。

※　壁面取付用ネジは市販の適切なものを選定の上、壁用マウントを壁面にしっかり固定してください。

■レール部をロックする（オプション）

1. 付属のネジ（T）六角レンチ（R）を用い、壁用マウント（Z）のレール部分を固定することができます。

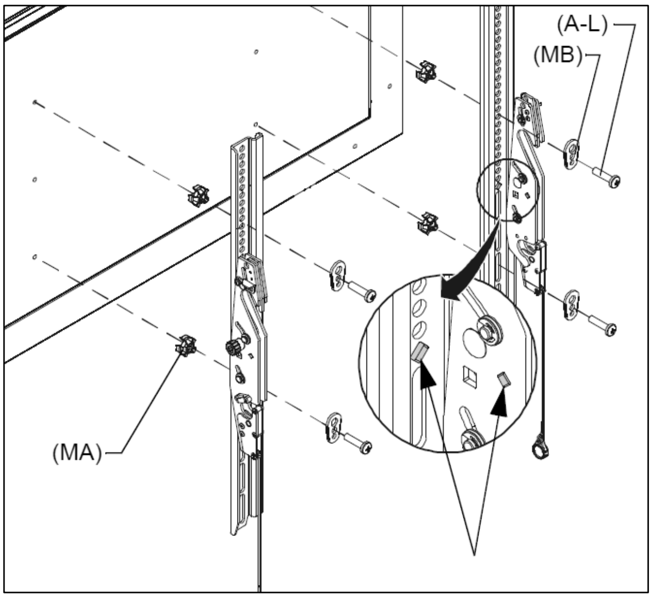
   メモ：上部のレールへのロック取付の場合は、六角レンチ(R)側にネジ(T)を乗せ、ネジ穴に下から入れ込むようにすると固定しやすいです。



【図-4】

■ブラケットにディスプレイを取付ける

1. 本製品ブラケット(X)(Y)の中心とディスプレイ側スクリーンの中心を合わせます。
   図-5のダイヤモンド型の穴がマウントの中心に一致するようになります。

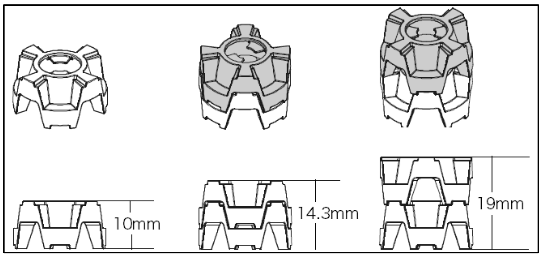


【図-5】

注意！：壁用マウントを上下2点留めで、ディスプレイ側マウントの取付けにM4ネジを使用している場合、耐荷重量は56.7kg (150lbs)以下となります。

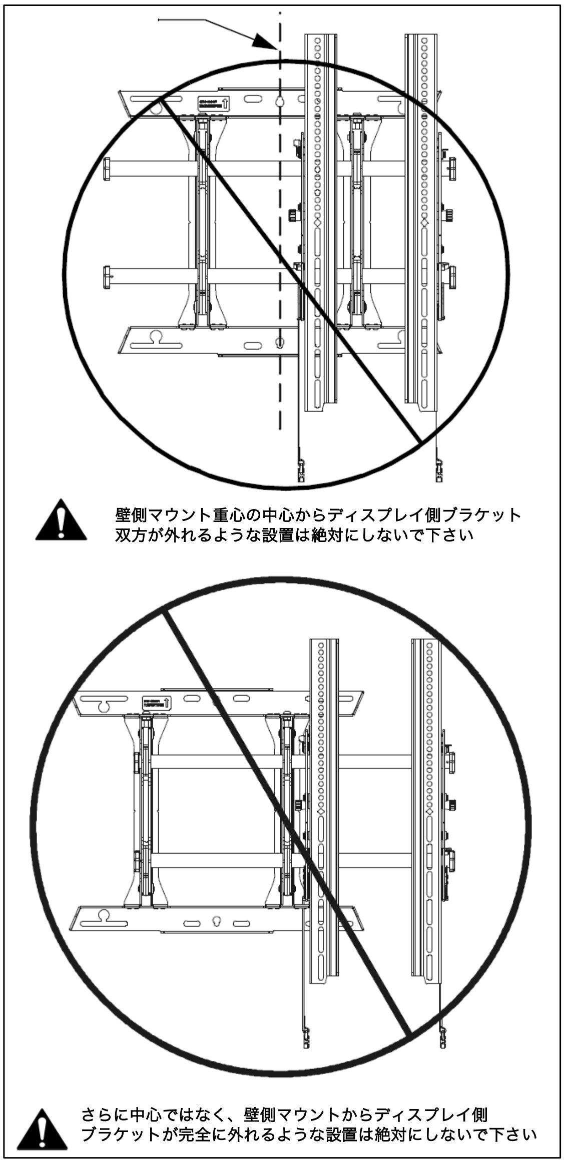
注意！：正しいサイズと重量のディスプレイを取付けて下さい。また、正しい部品の取付けをしないと、落下するなど重大なケガの原因となりますので充分ご注意下さい。

また、奥行きにより以下のスペーサーを使用できますが、その際は、充分な長さのネジで固定するようご注意下さい。スペーサーとブラケット、ワッシャー、ネジの取付け順は図-5をご覧下さい。



【図-6】
スペーサー（MA）の重ね方(1個使用もしくは2個重ね)

注意！：図-7のような設置方法は絶対に行なわないで下さい。落下するなど重大な事故やけがの原因となります。

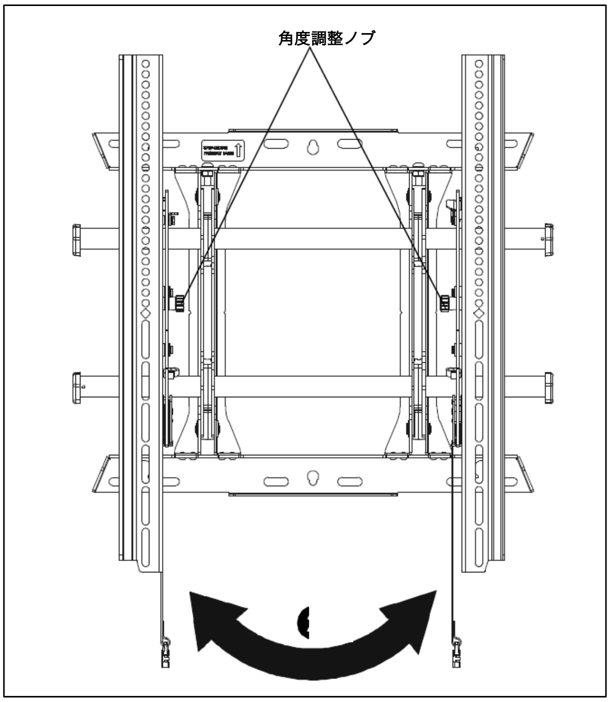


【図-7】

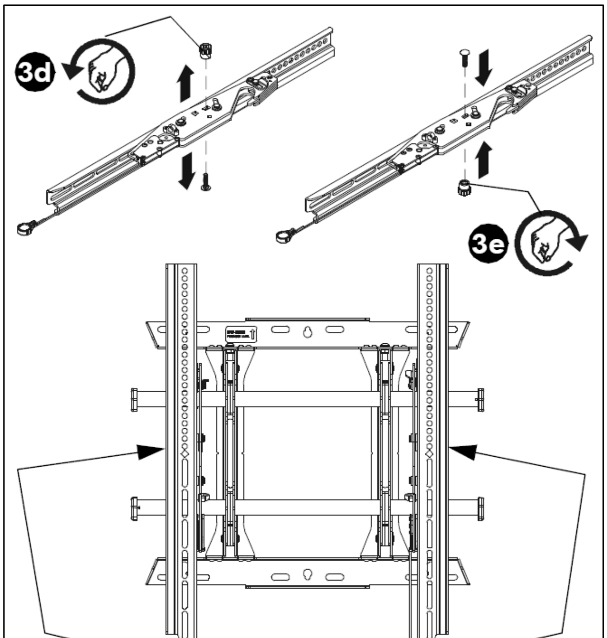
■ディスプレイ側ブラケットの左右を変えて取付ける（オプション）

ブラケットは、ディスプレイによっては取付け方向を左右変更することができます。ディスプレイの取り付けピッチと、壁取り付けブラケットが干渉してしまう場合などに、左右を変更してください。

※左右を逆にすると傾斜補正ノブが内側に入り込んでしまうため、ノブを反対側に取付け直す必要があります。図-8、及び図-9を参考にノブが外側に来るように取付け直してください。



【図-8】



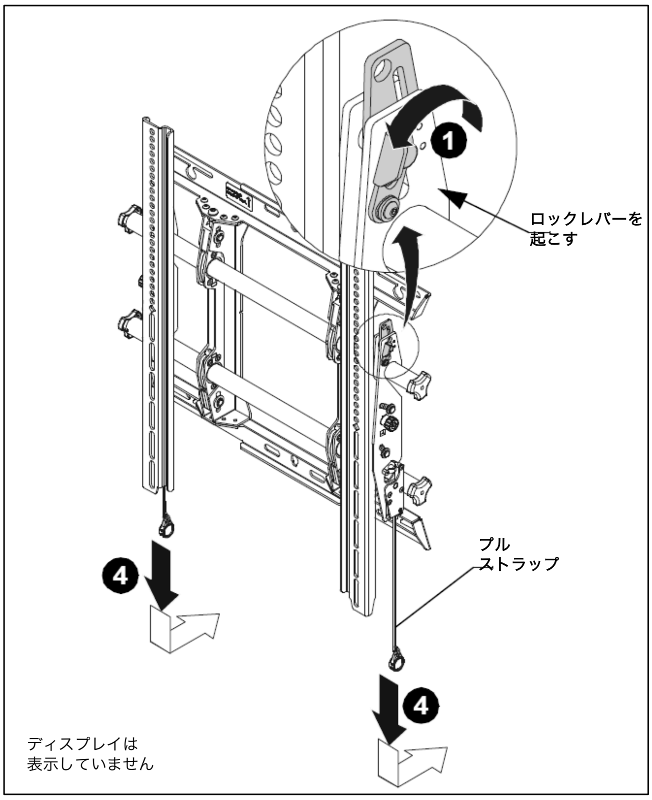
【図-9】

■ 壁側マウントにディスプレイを取付ける

図-10のように壁側マウント（X）側の上部ポールにディスプレイ側ブラケット部を引っ掛けます。

・ロックレバーを起こした状態で（図-10拡大部）、壁側マウント（Z）側の上部ポールにディスプレイ側ブラケット(X)(Y)を引っ掛けます。

メモ：スクリーン側は初期状況では、ケーブルアクセスを容易にするため、”サービスモード”に設定しておいてください。



【図-10】

・スクリーンとポールの位置を最終調整します。

・ケーブルを壁とポールの間に敷設します。

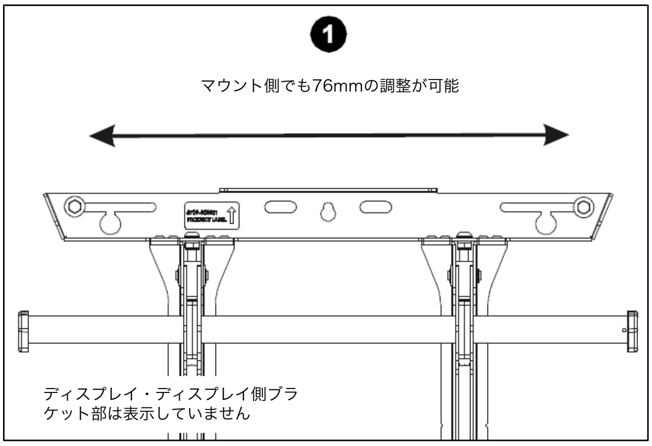
注意！：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。
指を挟まないようにご注意ください。

・次にケーブル等の接続が完了しましたら、両端のプルストラップを引くと、下側のポールにマウントがセットされます。

・プルストラップは先端がマグネット式になっていますので、容易にマウント部に隠す事が可能です。

■　水平位置調整

・壁側マウントもアンカー(もしくはネジ)にて設置した後
水平方向に76mm(3インチ)調整できます。



【図-11】

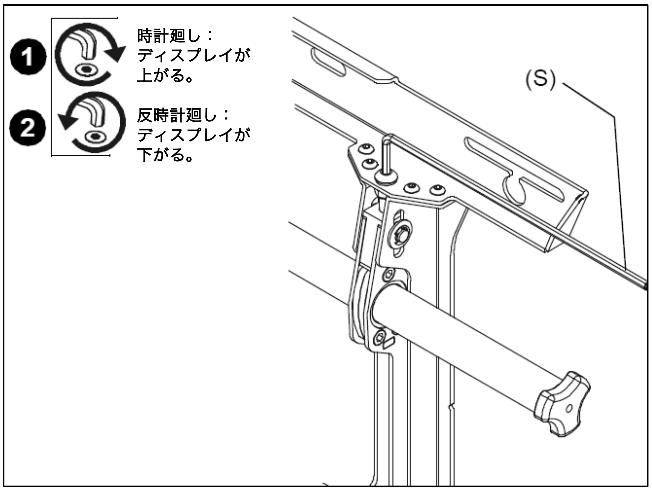
・スクリーン側はブラケットとポール部で調整できます。

・スクリーンの位置が決まったら、最後にロックレバー（8ページ　図-10）を横に倒し固定します。

■　垂直傾斜・高さ調整

・付属の六角レンチ（S）を使用して、図-12のように
　ディスプレイの垂直傾斜位置を調整することができます。

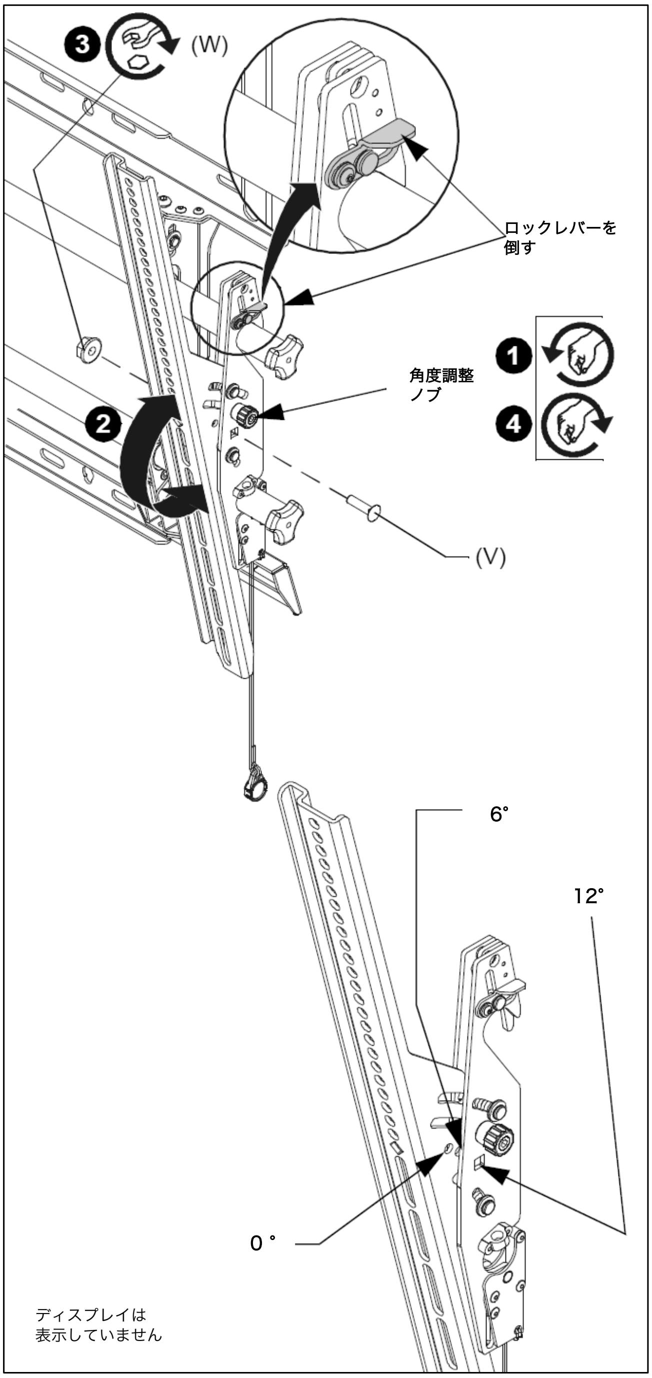
メモ：壁面ブラケット側での高さ調整は±12.5mm
　　　(1/2インチ)です。



【図-12】

■　画面角度調整

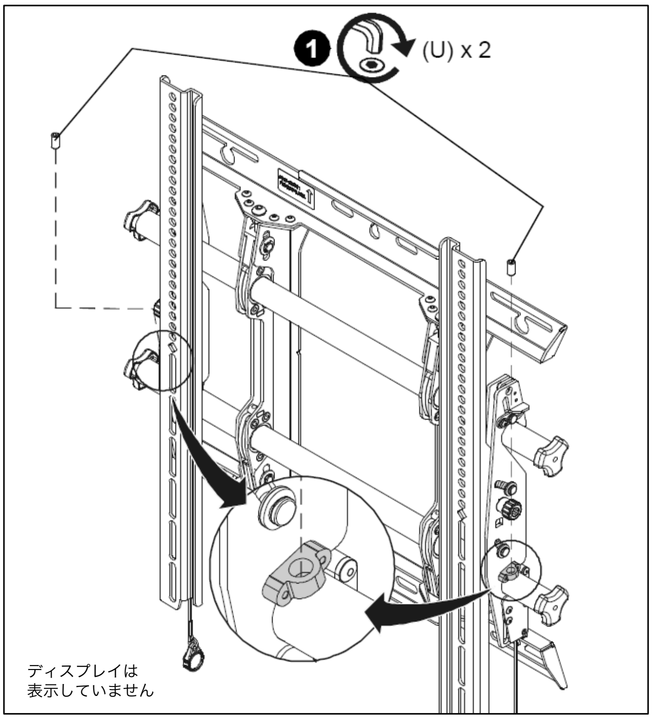
・調整可能角度は-2から12°の範囲で、0 °、6°、12°の
角度でロックできます。



【図-13】

・角度調整ノブを緩めます。
・設置角度を決め、調整します。
・0 °、6°、12°で留める場合は、付属ボルト（V）と六角ナット（W）を使って留めます。（図-13　　）

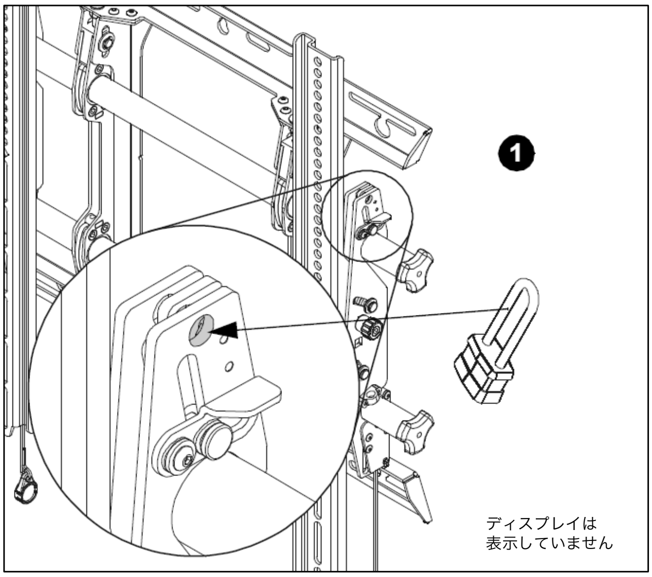
■　ディスプレイ側ブラケットロック方法（オプション）



【図-14】

・図-14のように、ディスプレイ側ブラケットと壁側ポールをロックすることができます。付属のセットビス(U)で固定してください。

■　オプション：セキュリティ機能



【図-15】

・必要に応じて、パッドロックを取り付けて、ディスプレイインターフェイス部に市販の南京錠を取り付けることも可能です。
南京錠の最大口径は7.9mmになります。

memo

http://www.avc.co.jp/

株式会社 映像センター
AUDIO VISUAL COMMUNICATIONS LTD.

■ システム販売事業部
<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関　西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

Copyright (c) 2015 Audio Visual Communications Ltd. All Rights Reserved.